



ニューヨーク補習授業校だより

# 絆・きずな

平成 30 (2018) 年

1 2 月 8 日 発行

第 2 7 号

夢のふくらむ学校

## 進級・進学に際してのご相談は・・・

先週、「進級等申込書」及び「同申込みについて」を配付したところです。幼児部から初等部へ、初等部から中等部へ、さらには中等部から高等部へと学年が上がるにつれて、現地校での活動や習い事などが忙しくなり、進級、進学について悩まれるご家庭も少なくない聞いております。

一般的に、現地校では上級学校に上がるにつれて宿題の量や難易度が上がり、家庭学習に時間をとられるので、補習校の宿題まではなかなか手が回らない、いきおい金曜日の深夜までかかって補習校の宿題を仕上げる、といった声をよく耳にします。本人にとっても、ご家族にとってもかなりの負担になる場合もあります。親としては、補習校を続けさせたい、日本語をしっかりと身に付けさせたいと、お子さんを叱咤激励するも、肝心の本人はもう燃え尽き寸前・・・そこで親子の葛藤が始まることもあると思います。現地校と補習校の狭間で揺れ動く子どもの意欲を、どうしたら奮い立たせることができるか、明確な答えはなかなか見つけられないかもしれません。

一方、4月にお知らせしたように、本校では「進級・卒業のガイドライン」を設定しております。「3/4以上の出席日数」と「宿題・課題の提出率80%以上」というものです。もちろん、これはあくまでも目安であり、これらの数字を下回ったからといって、進級・卒業を認めないというものではありません。それらの基準のクリアを目指して、頑張ってほしいと思います。

もう1点、忘れてはならないのが特に中等部・高等部への進級進学についてです。中等部・高等部では学習内容が格段に難しくなり、授業に集中してその場で理解し、効率よく宿題を仕上げなければ継続は難しいと思います。授業で使用する日本語が理解できないと、学習への意欲がもてません。そのため、学習に集中できずに、私語や手遊びなど他のことに流れていく生徒もでてきます。ましてや、私語や立ち歩きなどで他の生徒の迷惑になったり、教師の注意を聞かずに授業妨害したりする事は論外です。卒業証書が目的化しては本末転倒です。補習校では、補習校のカリキュラムをしっかりやり遂げ、学力はもちろん日本語の力をしっかりと身に付けることが目的です。

さて、そのような悩みや教育・子育て全般の相談に対応すべく、(5月の補習校だより第4、5号でお知らせしたとおり) **L I 校**には**バーンズ亀山静子相談員**、**W校**には**西尾尚子相談員**の二人が、土曜日に常駐しています。通常は、特に支援を要するお子さんの観察・指導をはじめ、ケース会議や個別相談などを担当しています。相談員は、必ずどこかの教室にいます。気軽に声をかけてください。面接や会議の予定が入っていることもありますので、あらかじめ連絡の上、相談時間などを決めておかれるとよいでしょう。

なお、ニューヨーク教育審議会には、もう一人**森真佐子相談員**がおります。平日でもニューロシエルの補習校事務所の相談室で対応が可能です。ただし、その場合は料金がかかります。詳細は補習校ホームページをご覧ください。教育審議会事務局 (914-305-2411) までお問い合わせください。

<参考>相談員のE-mailアドレス → **バーンズ相談員** [barnes@jec-ny.org](mailto:barnes@jec-ny.org)  
**西尾相談員** [nishio@jec-ny.org](mailto:nishio@jec-ny.org)  
**森相談員** [info@jec-ny.org](mailto:info@jec-ny.org)

## お知らせ

### 入園入学手続きについて

次週15日は、W校の入園入学手続き日2日目です。当日は、①年齢証明書類、②願書、③申込金小切手をご持参ください。幼初等部のお子さんは、スクリーニングを受けていただきます。